

「構成的グループ・エンカウンター」を活用したホームルーム活動の実践例（高2）

1 実践のねらい

- 本学級は、1年次からメンバーの4分の3が替わっていない。行事などにも一致協力して臨み、達成感も味わっているが、リーダーシップのある生徒の力が大きいため、ややもすると控えめな生徒が自己を十分に表現できないこともある。そこで、全員が気軽にのびのびと意見を出し合える雰囲気づくりを目指し、自己主張、他者理解をねらいにして、構成的グループ・エンカウンターを実施することにした。
- 生徒一人一人が具体的な体験を通して参加意欲を高められるように、「新聞」を用いてのエクササイズを行った。自己の視点と他者の視点を比較考察しながら傾聴し、自己主張することができるように、また、協同作業による喜びを感じながら、集団のリレーションづくり（関係づくり）ができるようにという期待をこめて実施した。

2 実践のポイントと留意点

- (1) 1単位時間で行え、構成的グループ・エンカウンターの知識や経験が十分ではない教師でも実践できるものにする。

高等学校のホームルーム活動等で構成的グループ・エンカウンターを実施する場合、①継続的に計画的に行うのが難しい ②教師の実践経験が少ない という2点において実践しにくいことが考えられる。構成的グループ・エンカウンターを成功させるかどうかは、リーダーとなる教師の力によるものも大きい。そこで、初心者である授業者にとっても負担が少なく、生徒たちが活動しやすいものを取り入れてみた。

- (2) 発達段階を考慮する。

構成的グループ・エンカウンターでは自己開示することを大切にしていく。そこで、思春期の生徒が持つ「恥ずかしい」という抵抗感を取り除くために、小グループで新聞記事を媒介にして対話を行うことで自己開示を促進し、抵抗感をなるべく取り除くようにした。

- (3) 安心して自由に活動できる雰囲気づくりをする。

「エクササイズ」と「シェアリング」において、安心して「自己開示」できるように、以下の点に留意する。

- ① エクササイズの前にウォーミングアップを行う。

生徒の参加意欲を引き出し、より活動しやすい環境にするために、緊張感を和らげるようなウォーミングアップを行う。

- ② エクササイズの説明や指示（インストラクション）は簡潔・明瞭に行う。

円滑な活動を促すためには、明確なルールのもとで共通理解してエクササイズに臨むことが必須である。また、教師の発言は少ない方が、生徒が「やらされている」意識を持たず、より自発的な活動を生み出すと思われる。

- ③ エクササイズの時には以下の点を観察し、必要に応じて援助する。
 - ・生徒の表情や参加の仕方
 - ・グループ内のコミュニケーションと雰囲気
- ④ 教師自身も楽しむ態度で臨む。
 - リーダーとして説明や指示をしたり生徒の様子を観察したりしながらも、共感的
 - ・受容的態度で接する。場合によってはエクササイズの実演をするなど、自己を開示し、生徒とともに楽しむ態度で臨みたい。

(4) シェアリングとフィードバックを大切にする。

「構成的グループ・エンカウンター」と「単なるゲーム」との違いはシェアリングである。まず自分の気付きや感情を振り返り、言葉にすることで、漠然としていた思いを明確にし、自己理解につなげる。次に他者と分かち合うことで、同じような気付きや感情を持った他人の存在に励まされ、また逆に同じエクササイズを経験しても、個人の受け取り方や感じ方が様々であることを知り、他者理解に役立つ。さらにクラス全体で分かち合うことにより、集団としての関係性を深める機会となる。教師も適宜、自分なりの気付きや感情等をフィードバックして活動のねらいを焦点化させる。

3 実践事例

(1) 目標

- ① 他人の意見を傾聴し、自己の意見を主張する。
- ② 協同作業を通して、よりよい関係づくりをする。

(2) 指導計画（全1時間）

(3) 本時

過程	学 習 活 動	教師の手立て・留意点
導 入 5 分	<p>【ウォーミングアップ】</p> <p>1 後出しジャンケンをする。</p> <p>2 4人グループにする。</p> <p>【インストラクション】</p> <p>・本時の学習内容について知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・これから体験する様々なことについてどう感じたか、事後感想を書くことを伝える。 ・教師対生徒全員で行う。 ・座席ごとに4人のグループをつくる。 ・新聞を使ってエクササイズをすることを伝え、各グループに新聞紙（半分の大きさ）と記録用紙を各1枚ずつ配付する。 ・参加ルールの確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ①少しだけ勇気を出して、取り組もう。 ②自分が思ったこと、感じたことを率直に伝えよう。 ③他のメンバーの話を傾聴しよう。 <ul style="list-style-type: none"> 人の話をさえぎらない。 人の話の内容を冷やかさない。

<p>展 開</p> <p>40 分</p>	<p>【エクササイズ】</p> <p>3 エクササイズ① 「新聞を使ってできること（例：望遠鏡，バット，帽子等）」を一切話さずにジェスチャーだけでできるだけ多く班員に伝え合う。 (制限時間 1 分 3 0 秒)</p> <p>4 エクササイズ② ・新聞記事の中から最も印象に残る記事・写真をそれぞれ選ぶ。</p> <p>・グループ内で討議し，最も紹介したい記事を一つ選ぶ。</p> <p>・代表者 1 名が，記事を紹介する。 (各グループ 3 0 秒程度)</p> <p>5 エクササイズ③ ・新聞を 3 0 ピースにちぎる。</p> <p>・ちぎった新聞を復元する。</p> <p>・別のグループの新聞を復元する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのねらいと手順の説明をする。 ・最も多く出したグループに発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・討議の際の注意点を伝える。 ① 4 人が自分の選んだ記事について 1 分ずつ話す。 ② 紹介する代表者も討議で決める。 ・話合いが活発に行われているか机間指導し，観察する。 ・紹介の際は記事を指し，大きな声で発表するよう伝える。 ・記事の選定については様々な視点があることにふれる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームの手順を説明する。 ・ちょうど 3 0 ピースになるように注意させる。
<p>終 末 5 分</p>	<p>【シェアリング】</p> <p>6 授業の感想を記入し，発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動から感じたこと，気づきをフィードバックする。

4 児童生徒の変容

(1) 授業アンケートより

4…とてもそう思う 3…少しそう思う 2…あまりそう思わない 1…全くそう思わない

	上段 クラス全体平均	
	下段 実施前	下段 新入生徒平均(注)
クラスの雰囲気に関して		実施後
クラスメートが声をかけてくれたり, 親切にしてくれたりする。	3. 6	3. 6
	3. 5	3. 7
クラスメートと気軽に話すことができる。	3. 7	3. 7
	3. 7	3. 9
自分のクラスは明るく楽しい感じがする。	3. 4	3. 7
	3. 3	4. 0
クラスの友人関係はうまくいっていると思う。	3. 6	3. 7
	3. 8	3. 8
活動に関して		実施後
クラスメートとの話し合いは, 自分自身のためになった。	/	3. 5
今日の活動を通して, ほっとしたり明るい気分になったりした。		3. 6
今日の活動は楽しかった。		3. 7
今日の活動では, 積極的に活動した。		3. 6

(注)「新入生徒」とは, 2年時に新しくクラスに加わった生徒のことです。

(2) 授業後の生徒の感想より (一部抜粋)

《他者理解に関する内容》

- ・新聞一枚でいろいろなことができるんだなと思った。今日の活動を通して, 友達と話し合うおもしろさを改めて感じる事ができた。
- ・日頃あまり話をしない人と話すことができてよかった。グループの中で自分の意見を発表するときには頭の中で話そうと思っていたことがまとまらず, うまく伝えることができなかつたけれど, みんな興味を持って聞いてくれてよかった。今日の活動を通してこれからいろんな人と会話ができたらいいと思う。
- ・みんな自分の意見をしっかり言えている。人の知らない一面が見えた。
- ・友達と一緒に話しながら作業をしたり, 友達の意見や考えを聞けたりして楽しかった。新聞に全く興味がなかつたけれど, みんなで読むとおもしろく感じたし, たくさんの考えが聞けて良かったと思った。
- ・班のみんなと力を合わせていろんなことをやってとても楽しかった。いっぱい話などできてよかった。クラス内の友人関係は以前よりもよいものになったと思う。

《自己表現に関する内容》

- ・言葉なしでジェスチャーで表現するのは難しかった。でも理解してくれたからうれしかった。
- ・人に自分から何かを伝えることがどんなに難しいかが分かった。少ない時間内に記事を読み取ってみんなの前で話すのは勇気がいったし, 緊張した。でも, 自分が言ったことに対して何も言わず静かに聞いてくれたので嬉しかった。

- ・新聞記事を説明するのは一人一人見ている観点が違っていておもしろかった。説明するのは簡単だけれど、自分の意見を合わせるとなると難しいと思った。最後のパズルが一番楽しかった。
- ・少ない人数の中だったら言いたいことを言えそうだけど、大人数の前だったらそうはいかないと思った。今日しゃべることができた人もいたので、慣れていけるといいと思う。
- ・新聞に載っている小さな記事を説明するのも言葉がつまったり、考えがでなかったりと、「相手に伝える」ということの難しさを知った。またパズルでは自分ではまったく分からないところを他の人がカバーしてくれたり、協力することの大切さを学んだ。

《その他》

- ・面白くて早く時間が流れた。高校ではこういう体験がないので、またいつかやりたい。

- アンケート結果を見ると、特に「クラスは明るく楽しい感じがする」という項目において大きな変化が見られた。また、新しくクラスに入ってきた生徒ほど、ほとんどの項目について変化が大きかった。活動に関しての項目についても、ポイントが高かった。

このことから、新しくクラスのメンバーになった生徒ほど、意欲的に活動し、友人との関係を積極的に深めようとしていたことが伺える。

感想からもお互いをいたわりながら活動をしたことや、協力することの大切さを感じたことが多く書かれていた。

5 授業の分析と考察

- 構成的グループ・エンカウンターは、クラス内の親密度を高めるのに大変効果的であることが分かった。今後もクラス替えの時期など、生徒が新しい環境づくり、友人づくりをする際に取り入れていきたい。
- 構成的グループ・エンカウンターには、様々なエクササイズがある。今回、新聞を利用したことは、生徒のグループ活動の抵抗感を軽減し、知的好奇心を満たすのに有効な手立てであった。ジェスチャーゲームでは想像をめぐらし、それを伝えることに一生懸命になり、面白い発想に笑いが出ていた。記事の内容を伝えるエクササイズでは、やや緊張しながらも、自分の考えを話し、それに仲間が耳を傾けるという穏やかな時間になった。また最後のパズルゲームでは思い切り楽しんでた。
- 今回は時間の都合上、活動の最後に感想を書き、それを教師がまとめて翌日プリントしたものを読むというシェアリングを行った。「協力することの大切さ」「思いを伝えることの楽しさ、難しさ」など様々な気付きが書かれた感想を、生徒たちは興味深く読んでおり、これも高校生にとっては十分なシェアリングになると思われた。シェアリングは重要であるが、必ずしも発表という形態をとらなくても、生徒の発達段階や実態に応じて柔軟にとらえてよいのではないだろうか。
- 構成的グループ・エンカウンターは、様々な場面で、短時間で、時期や対象に応じて実施することができる。授業はもちろん、学校行事やリーダー研修会で取り入れたりと、PTAの学級懇談会など保護者の関係づくりにも有効であろう。高校生であればリーダーを生徒に担当させ経験させることで、リーダー育成にもつながる。実施の効果を上げるためには、生徒の実態に応じたエクササイズを取り入れることや、日頃から段階的に取り組むことなどが大切である。

